

資源循環型施設検討委員会の 協議結果について（素案）

◎本日、御協議をいただきたい事項

①協議結果案の全体構成について

②「はじめに」及び「協議が終了した事項の協議
結果について」

令和 年 月 日

資源循環型施設検討委員会

目次（全体構成） **本日協議**

○はじめに **本日協議**

協議結果 1 「ごみ減量について」 **本日協議**

協議結果 2 「資源循環型施設の基本条件について」

本日協議

協議結果 3 「資源循環型施設の環境対策について」

協議結果 3－1 「ダイオキシン類対策」

協議結果 3－2 「周辺環境の保全対策」

協議結果 3－3 「自主基準値について」 **本日協議**

協議結果 4 「地域に貢献する資源循環型施設について」

協議結果 4－1 「回収した熱エネルギーの利用」

協議結果 4－2 「施設の防災対策」

○今後に向けて

はじめに（案）

平成30年11月、資源循環型施設建設対策連絡会、上田地域広域連合及び上田市では、安全・安心な施設のあり方について、対等な立場で協議を行うため、地域住民と行政との協働により、「資源循環型施設検討委員会（以下、本委員会という。）」を設立し、協議を行ってきた。

これまで、上田地域広域連合における資源循環型施設に関する十数年の検討の歴史のなかで、地域住民の参加を得て本格的な話し合いを行ったのは本委員会が初めてである。

本委員会では、当初の予定を超えて1年間以上の期間をかけて全〇回に渡る開催となり、活発な議論を行ってきた。

これまでの話し合いにおける成果として、ここに協議結果を報告する。

協議結果 1 「ごみ減量施策について」(案)

- 資源循環型施設の環境負荷を減らすため、広域連合及び構成市町村は、引き続きごみ減量に向けた取組みを推進する。
- ごみ排出量の多い上田市は、廃棄物処理審議会、部会として生ごみリサイクル研究委員会を設置し、その答申をふまえて生ごみの減量へ向けて着手可能な事項から取り組む。

協議結果 2 「資源循環型施設の基本条件について」(案)

- 資源循環型施設の施設規模は、1日の処理量144トンを上限として、ごみ減量施策の成果をふまえて検討する。
- 資源循環型施設の処理方式は「ストーカ炉」、「24時間連続運転処理」とする。
- 資源循環型施設の焼却炉の構成は3炉を基本として、最終的な処理量、1炉あたりの規模による排出規制値、技術的に可能な自主規制値等をふまえて、検証を行う。

協議結果 3 「資源循環型施設の環境対策について」

協議結果 3-3 「自主基準値について」(案)

- 法令で定める排出基準値よりさらに厳しい自主基準値を、以下の考え方に基づき設定していく。
 1. 法規制値以下にする。
 2. 最新の技術を用いて達成可能な値とする
 3. 近年計画された近隣施設の状況を参考とする